

EU Indicators

欧州経済指標コメント：5月英国消費者物価

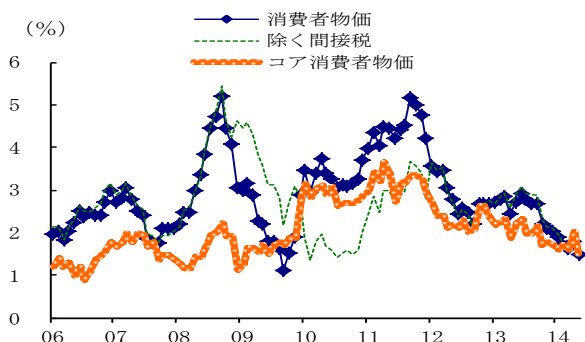
発表日：2014年6月18日(水)

～年内利上げ開始の流れに逆らえず～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

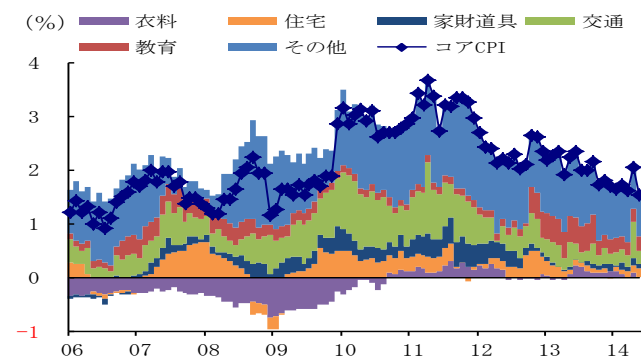
- 17日に発表された5月の英国の消費者物価は前年比+1.5%と前月（同+1.8%）から上昇率が縮小。事前の市場コンセンサス（同+1.7%）や5月物価レポート時のBOEの想定（4-6月平均で同+1.8%）を下回った。内訳をみると、エネルギー価格の上昇率が最加速（4月：同+0.3%→5月：同+1.6%）した一方で、前月の物価再加速を促したコア物価の上昇率が再び鈍化（同+2.0%→同+1.5%）し、食料品価格が2006年3月以来となるマイナスに転じた（同+0.6%→同▲0.6%）。
- コア物価の内訳では、衣料・履物（同+1.2%→同横這い）、家財道具（同+1.5%→同+0.9%）、輸送サービス（同+10.2%→同+1.7%）、通信（同+2.0%→同+1.1%）の鈍化が目立つ。衣料品はセールの関係で、家財道具は購入単価が大きく、通信費は契約プランの関係で、月毎の振れが比較的大きい費目であると考えられる。また、輸送サービスは、イースター休暇の時期が前年と異なった影響で、前月に航空/船舶運賃が急伸しており、今月はその反動が出た模様。
- 先の労働統計での低い賃金上昇率に加えて、今回、物価上昇率の抑制が確認されたことは、そろそろ景気や住宅市況の過熱も気になり始めたBOEにとって安心材料を提供する。だが、12日にカーニー総裁が利上げが市場予想より早まる可能性を示唆し、その後も複数のMPCメンバーから早期利上げを示唆する発言が出ており、年内利上げ開始に向けた流れを食い止める内容ではないと判断される。

■英国：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
 出所：英統計局

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2013				2014				2013				2014			
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費者物価	(前期比)	0.7	0.3	0.6	0.1	0.1	0.1	0.4	-0.6	0.1	0.1	0.4	-0.6	0.5	0.2	0.4	-0.1
	(前年比)	2.7	2.7	2.1	1.7	2.2	2.1	2.0	1.9	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.8	1.5
コア消費者物価	(前期比)	2.2	2.0	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	2.0	1.5
	(前年比)	4.2	4.1	2.9	1.8	4.0	2.8	1.9	2.0	4.0	2.8	1.9	2.0	1.8	1.7	0.6	-0.6
食料品	(前期比)	3.3	4.0	3.2	0.8	3.1	3.0	3.4	0.8	3.1	3.0	3.4	0.8	0.0	1.8	-0.8	1.1
アルコール	(前期比)	7.6	6.8	7.1	7.3	6.5	7.4	7.3	7.4	6.5	7.4	7.3	7.4	7.3	7.4	6.7	7.1
たばこ	(前期比)	3.3	4.6	2.4	1.0	2.2	1.6	3.3	2.8	2.2	1.6	3.3	2.8	0.7	-0.3	0.3	1.6
エネルギー	(前期比)	7.7	7.9	6.9	5.8	7.7	5.9	7.2	6.6	7.7	5.9	7.2	6.6	5.5	5.2	4.8	5.0
住宅用燃料	(前期比)	-1.9	0.7	-3.1	-4.6	-4.2	-3.6	-1.4	-1.8	-4.2	-3.6	-1.4	-1.8	-5.1	-6.6	-5.0	-2.5
自動車燃料	(前期比)																

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。